事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部長寿介護課			■担当係	高齢福祉係	
■評価事業名称	ボランティア活動事業費補助金					
■事業開始年度	平成3年度					
■評価事業コード	043100 - 008 ■会計区分 一般会計					
	■政策 01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり					
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	施策 04 共に支えあう地域福祉の推進				
	■施策	■施策 02 地域福祉を担う人材の育成				
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業) ■政策・業務区分 政策			政策		
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの					
■法令等の名称						
■関連計画の名称	第5次北上市高齢者保健福祉計画					
■事 業 の目的と概要	啓発活動や研修を通して多くの市民がボランティア活動に参加、主体的に活動を展開できるようにする。また、実践者の活動の充実強化が図られる。ボランティア活動への補助					

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業 コード 名称	事業の対象	平成 27 年度事業計画	平成 27 年度事業量実績
01 ボランティア 市活動事業費 補助金	市民、高齢者 等	・個人登録300人 ・中高生ボランティア講座(2回130人) ・キャップハンディ体験活動(小学生等7回600人) ・ハウスクリーニングプロジェクト (2地区4回40世帯、小中学生等述べ330人)	・個人登録132人 ・中高生ボランティア講座(2回86人) ・ボランティアはじめて講座(1回15名) キャップハンディ体験活動(小学生等23回1,062人) ・ハウスクリーニング(5地区7回81世帯、小中学生等述べ687人)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	342	342	343	342	
人 件 費		229	537	223	
その他(公債費・ 減価償却費等)					
フルコスト	342	571	880	565	

4. 評価指標等の状況

指標 コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01 ボラン・ な活動	ティアの継続と自主的 への推進(登録者数)	297	306人	318人	132人	ボランティア講座や必要性をあるとにより登録者
						が目標値を達成した。

問題点・課題等

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

┌■目標達成状況 -

達成状況の分析

■目標達成状況	施し、今後のした結果、登	にボランティア登録の意向調査を実 D実働ボランティア活動の有無を確 登録者数は減少した。ボランティア講 協働実施のボランティア活動が増加	≅認│ ような支援が必要である。 講 │ │
─1. 直接的な受益者の範囲 ──	_	業廃止の影響 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	─ ─3. 国・県・民間との競合関係の有無 ─
○ 不特定多数に及ぶ		きな不利益やリスクが生じる	● 類似の事業はない
● 特定されるが多数に及ぶ	● あ	る程度の不利益やリスクが生じる	○ 類似の事業はあるが競合はない
○ 特定少数に限定される		利益やリスクは小さい	○ 類似の事業があり競合する
 4. 事業へのニーズの変化 ● ニーズが高まっている ○ ニーズは変わらない ○ ニーズが低下している又は合 一7. 他市町村に比較しての優位性 ○ 先進的またはユニークな事業 ● 他と同程度の事業である ○ 遅れている事業である 	 =	-5. 施策の改善需要度(市民意) ○順位が高い ○順位が中程度 ○順位が低い -8. 実施主体の代替性 ○民間委託等の拡充は難しい ○民間委託等の拡充が十分に ○全部委託や実施主体の移行	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
■事業の見直し方策			後の方向性 —————
			Ⅰ. 拡充 □ Ⅳ. 廃止・休止
		● 1	Ⅱ. 継続 💮 Ⅵ. 完了
			Ⅲ. 縮小